

インドネシア 第5回日本語作文スピーチコンテスト開催について

公益財団法人小丸交通財団（本社：広島県福山市、理事長：小丸 成洋 以下、小丸交通財団）は、12月19日に広島大学「福山通運小丸賑わいパビリオン」において、広島大学 PERSADA 共同プロジェクトセンター、ダルマプルサダ大学と共催し、第5回日本語作文スピーチコンテストを開催しました。このたびは、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況のなか、日本とインドネシアをつないでの初めてのリモート開催となりました。

今回のコンテストは10大学117名の応募から事前に審査を行い、優秀者10名が「交通」というテーマでスピーチを行いました。最優秀賞は「インドネシアでは免許の年齢に達していない子供でもバイクを運転することが常態化しており、自分も親に禁止されていたが友人にバイクの運転を教えてもらった。しかし、事故に遭いかけたことをきっかけに母から安全運転の大切さを教えられ、周りに流されず自分で考えることの重要性を学びました」とスピーチしたブラヴィジャヤ大学のデリア・ボウディ・カミラさんが選ばれました。

また、来賓として在インドネシア日本国大使館の石井正文大使、主催者として広島大学の越智光夫学長、ダルマプルサダ大学のトリ・マジョルコ学長が列席されました。

【参加大学】アイルランガ大学、北スマトラ大学、ハサヌディン大学、ウダヤナ大学、インドネシア大学、ダルマプルサダ大学、ガジャマダ大学、パジャジャラン大学、ブラウィジャヤ大学、インドネシア教育大学



スピーチコンテスト会場



参加された方々